

1. 木質バイオマス関連情報

■焼酎粕を有効活用するバイオマス発電施設が大分県宇佐市に完成。設立したのは、県内でメガソーラー発電事業などを手がける(株)未来電力(同市)。市内のミカン農園跡地約8千㎡に200kWの発電機3基と発酵槽、液肥貯蔵槽などを整備。処理費用に頭を悩ます酒造会社から焼酎粕を調達し、活用する。発電の仕組みは焼酎を蒸留した後に液体を発酵させ、発生したメタンガスでタービンを回すもの。年間発電量は3,030MWhで、一般家庭約840世帯の年間電力使用量相当。九州電力(株)(福岡)に売電し、年間約1億2千万円の収入を見込む。事業費は約10億円【朝日新聞：

2018/08/10】

<https://www.asahi.com/articles/ASL7W4DQWL7WTPJB003.html&ct=ga>

■イーレックス(株)(東京)、FITを活用しない大規模バイオマス発電事業構築を検討中。大規模化で発電コストを下げ、企業に直接売電する。採算性を見極め、2024~25年を目途に稼働を目指す。主力電源としての再生可能エネルギーの導入が急速に拡大しているのに加え、COP21で採択されたパリ協定が発効され、脱炭素化に取り組む企業が年々増加。一方、改正FIT法による賦課金の国民負担が今年度中に2兆円を超え、買取価格の低減に向けた各種施策が講じられると共に、経済的に自立した電源の必要性が提案され、ポストFITに向けた議論が行われている。同社はこのような状況を踏まえ、立地、大規模電源、ゼロエミッション電力の販売、共同事業者、燃料の安定供給・備蓄、ファイナンス等計画の実現へ向け検討を深めていくとしている【日本経済新聞：2018/08/13、イーレックス(株)：

2018/08/15】
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ034102180T10C18A8M8000/?ct=ga>

https://www.erec.co.jp/news/wp-content/uploads/2018/08/20180815_biomass.pdf

■環境省、容器包装などに使われる石油系プラスチックの代替

製品として、環境負荷が小さい植物由来のバイオマスプラスチックや紙を生産する企業を対象に2019年度に設備費の補助制度を創設する方針。工作機械をはじめとする生産設備に対し、費用の半額から2/3を補助する方向。バイオマスプラスチックは、トウモロコシやサトウキビといった植物を原料にしたプラスチック。石油系に比べCO₂の排出量が少ない上、自然界で分解される種類であれば、生態系への影響を最小限に軽減できる。環境省は「脱石油」化の推進により、日本で来年開かれる20カ国・地域(G20)首脳会議で対策に前向きな姿勢を示したい考え。2019年度予算概算要求に関連経費数十億円を盛り込む【JJI.COM：2018/08/15】

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2018081500749&g=eco>

■四国電力(株)(香川)、今年の5月20日午前10時~正午にかけ、自然エネルギーによる電力供給量が需要の100%超に。NPO法人環境エネルギー政策研究所(東京)の調べで分かった。2012年のFIT開始以降、供給が100%に達したのは国内電力10社中で初。四国電力が供給する自然エネルギー由来の電力は太陽光、水力、風力、バイオマスからのもので、バイオマスは1万kW/h。20日当日は火力発電と合わせると、10~11時は150万kW、11時~正午は153万kWの供給過多となり、余った電力は連係線を通じて市場で他社に卸売したほか、水をくみ上げて夜間に発電する「揚水発電」に使用。研究所によると四電が他電力よりも早く100%を超えたのは太陽光や水力の比率が高いため、「伊方原発の再稼働は、電力需給を見る限り明らかに不要」と訴えているが、四電は「自然エネルギーは天候に出力が左右される。安定的な供給のため原子力発電は不可欠」としている【徳島新聞：2018/08/17】

<http://www.topics.or.jp/articles/-/87629>

■(株)タケエイ(東京)、電力の小売事業を行うため、100%子会社の小売電気事業者「(株)大仙こまちパワー」を設立(8月17日)。現在タケエイ等が秋田県大仙市に建設中の秋田グリーン電力(株)(出力7,050kW)の発電する電力を地元へ供給

して利用を促進するため。タケエイは、(株)津軽バイオマスエナジー(青森)、(株)花巻バイオマスエナジー(岩手)の各発電所について、(株)津軽あつぷるパワー及び(株)花巻銀河パワーを通じて地元の小中学校等へ電気を供給している。秋田グリーン電力は隣接する(株)秋田バイオマスチップが県内の間伐材を木質チップにしたものを燃料に使い、発電した電力を大仙こまちパワーに売電。地元企業に供給することにより、青森、岩手に続いてより一層エネルギーの地産地消を推進する。売電開始時期は秋田グリーン電力の事業開始と同時期の2019年4月の予定【(株)タケエイ:2018/08/17、秋田グリーン電力(株)】

<http://v4.eir->

parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1624735

<http://www.akita-gp.co.jp/business.html>

■長野県林務部と信州大学農学部が、オーストリア連邦森林・自然災害・景観研究研修センター(BFW)と2013年から結んでいる林業に関する覚書を更新へ。10月に協定の期限を迎えるため、中島恵理副知事が8月27日～9月1日の日程で同国を訪問。オーストリアのクラーゲンフルト市で、現地時間の30日に覚書を更新。更新後の協定期限は2023年。学生、県職員の交流や研修で同国と協力するほか、林業技術の展示会などを開催する【日本経済新聞:2018/08/20、信州大学農学部:2018/09/20】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ034358370Q8A820C1L31000/>

<http://www.shinshu->

[u.ac.jp/faculty/agriculture/news/2018/09/post-260.php](http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/news/2018/09/post-260.php)

■佐賀県佐賀市、同市の藻類バイオマス事業で本年度の収入として計上していた100t分364万円が半減する見通しを明らかに。市が事業開始前の2015年度にまとめた収支計画では、2018年度は6,120万円の売却を見込んでいた。だが売却先の企業側の体制が整わず、大幅に下方修正した経緯がある。本年度はさらに売却先の藻類培養企業側がCO₂を微細な気泡にして効率的に水に溶かす設備を採用したため、使用量がほぼ半減したという。今後はJA全農と連携して2019年9月に稼働させる施設園芸のモデル事業で1t/日程度を消費する計画だが、生産量に比べて需要が乏しい状態が続く【佐賀新聞LiVe:2018/08/21】

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/262163>

■(株)大林組(東京)が山梨県大月市笹子町白野に建設していた県内最大のバイオマス発電所「大月バイオマス発電所」が8月21日に完成。発電所は敷地面積約2万㎡で、延べ床面積1,218㎡。事業者は大林組の子会社(株)大林クリーンエナジー(東京)、運営は大月バイオマス発電(株)(山梨県大月市)。EPCは大林組。県内や隣県の間伐材や剪定材を加工した木質チップを燃やし、発生する蒸気でタービンを回して発電し、東京電力パワーグリッドに売電する。発電量は約3万世帯に供給できる1万4,500kW。投資額は約100億円。試運転を経て、11月から本格稼働する【産経ニュース、OSR No.335:2018/08/22】

<http://www.sankei.com/region/news/180822/rgn1808220020-n1.html>

■木質バイオマス発電向けチップ製造の(株)グリーンマテリアル北陸(富山)、手入れが行き届かず管理が困難になっている県内の山林を所有者から無償で譲り受け、間伐する事業に着手。同社は富山県初の木質バイオマス発電(発電出力5,750kW)事業を行っている(株)グリーンエネルギー北陸の100%子会社【新建ハウジング:2018/08/24】

<https://www.s->

housing.jp/feed_nordot/c405542116625253473

■(一社)環境技術普及促進協会(東京)、「平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業)二次公募結果について」公表。6月26日(火)～7月23日(月)まで実施していた公募で、北海道勇払郡厚真町、山梨県南都留郡道志村、岐阜県可児郡御嵩町、鳥取県倉吉市、鳥取県東伯郡北栄町、大分県竹田市の6自治体の実施する事業が採択された【(一社)環境技術普及促進協会:2018/08/24】

http://www.eta.or.jp/offering/18_16_mokushitsu/180824.php

■長野県上伊那地域振興局林務課、県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」に上伊那地方の4地域が新たに認定されたと発表。4地域は伊那市の西箕輪、南箕輪村の大泉所山、中川村の竹ノ上、飯島町の町民の森傘山。西箕輪の活動は、「西箕輪薪の会」が主体となり搬出間伐をして薪ストーブを設置する地区公民館などに薪を供給する。竹ノ上では地域住民が営農組合、PTAと連携して荒廃竹林を整備。他の2地域は

案内板の設置や遊歩道の整備などを計画。今年度を初年とする県の第3期森林づくり県民税（森林税）で広がりを目指すことにした取り組み。制度拡充後、全県に先駆けての認定【Nagano Nippo Web：2018/08/24】

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/37463>

■三重県桑名市、放置竹林を減らしタケノコ生産の担い手を増やそうと、チップ化した竹でバイオマスプラスチックを製造している（株）ミラリード（愛知）と協定を締結（8月28日）。林野庁の調べでは、市内の竹林面積は約217ha。このうち約500軒の農家が約60haでタケノコを生産し、主にJAを通じて名古屋や京都等へ出荷。一方残りの竹林は未利用で、高齢化に伴う担い手不足から多くは荒れた状態になっているという。地域資源を有効活用し、安定したタケノコ生産を通じて活性化につなげるのが狙い【毎日新聞：2018/08/29、（株）ミラリード：2018年】

<https://mainichi.jp/articles/20180829/ddl/k24/010/231000c>

<http://www.mirareed.co.jp/ichinomiya/>

■林野庁、平成31年度林野庁予算概算要求の概要を公表。要求総額は約3,452億円で、対前年度比15.0%増。木質バイオマスに関連する事業の予算を含む「林業成長産業化総合対策」を前年度に続き目玉要求に位置づけ、186億円の確保を目指す。その中で「林業・木材産業成長産業化促進対策（平成31年度予算概算要求額は14,734百万円）」内に「木材産業等の競争力強化を図るため、意欲と能力のある経営者との連携を前提に行う木材加工流通施設、木造公共建築物、木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備を支援」する『木材産業等競争力強化対策』が含まれている。その他「木材需要の創出・輸出力強化対策（平成31年度予算概算要求額は835百万円）」内に「木質バイオマスのエネルギー利用における地域内エコシステムの構築に向け、地域の体制づくりや技術開発、技術面での相談・サポート等を支援する」『「地域内エコシステム」構築事業』が含まれている【林野庁：2018/8月、J-FIC News：2018/08/27】

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/31koukyou.html>

<http://www.j-fic.com/news/page/3>

■（公社）岐阜県森林公社（岐阜）、運営する「森のジョブステ

ーションぎふ」サイトで、林業に特化した求人情報検索サービスをスタート。岐阜県森林公社は林業の就業相談から技術習得、定着までを一貫して支援し、担い手の確保・育成、事業者の就業環境の改善強化の取組を行っている組織。アドバイザーが配置されており、いつでも相談できるようになっている【（公社）岐阜県森林公社：2018/08/27】

<http://gifu-shinrin.or.jp/labor>

■鳥取県日南町、来年4月に開校する「にちなん中国山地林業アカデミー」の生徒募集を開始。定員は10人、修学期間は1年。入学金は無料で、研修費用は年96,000円、応募条件は林業に就業を希望し、来年4月1日時点で18歳以上の人。募集期間は9月25日～11月16日まで【日南町：2018/08/27】

<http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/15/6/3/>

■兵庫県宍粟市一宮町の市民局庁舎を仮校舎として使ってきた県立森林大学校が、3月末で閉校した染河内小学校跡（同町）の本校舎に移転。8月27日に初授業。森林大学校は2017年4月に開校。2年制の専修学校で、県内外から入学した18～40歳の36人が森林経営ノウハウや技術を学ぶ。演習に適した県有林に近く、古くからPTA等が「学校林」を切り盛りし、林業と関わりが深い染河内小跡が開校地に決まったが、開校が予定より早まり、当初は一宮市民局を校舎に利用。染河内小跡では耐震化が済んだ校舎を使うことにし、閉校後、内外装の改修を終えて移転した【神戸新聞NEXT：2018/08/28】

<https://www.kobe->

np.co.jp/news/seiban/201808/0011583652.shtml

■資源エネルギー庁、「FIT制度に係る標準処理期間及び運用ルールの一部見直しについて」を発表。2017年4月に施行された改正FIT法により認定基準が厳格化され、申請項目や添付書類が増加。また申請不備が増加したことで審査期間が長期化している状況に対処するため。「バイオマス発電設備に係る再生可能エネルギー発電事業計画の新規認定申請及び変更認定申請」の標準処理期間については現行の2～3カ月から「4カ月」に改正。併せて2018年度より一部のバイオマス発電に導入された入札制を踏まえ、「バイオマス発電設備に係る再生可能エネルギー発電事業計画の入札参加可否の通知」について、これまで規定がなかったものを「4カ月」に設定。2018年8月31日より開始する。さらに改正FIT法によ

り「電力会社との接続同意書類」が新規認定申請及び一部の変更認定申請の添付書類となっているものの、申請時点の提出は必須となっていなかったのを、「申請時点での提出を必須」に変更。50kW 未満太陽光発電設備以外の発電設備は、2019年4月1日以降適用する【資源エネルギー庁：2018/08/31】

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/dl/announce/20180831_1.pdf

■資源エネルギー庁、例年年度末に FIT の新規/変更認定申請や変更届出の提出が集中することから、2018年度中の認定申請等にかかる期限日を設定。新規/変更認定申請期限日について、バイオマス(他省庁協議必要)の場合は12月21日(金)、バイオマス(他省庁協議不要)の場合は2019年1月11日(金)に設定。電力会社との接続同意書類及び環境影響評価方法書に関する手続きを開始したことを証する書類(当初の申請時に添付しなかった場合)については、どちらの場合も2019年2月8日(金)が提出期限に【資源エネルギー庁：2018/08/31】

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/dl/announce/20180831_2.pdf

■(株)タケエイ(東京)、福島県田村市に木質バイオマス発電所建設へ。燃料は県内産森林資源100%を木質チップ化し、5万t/年使用する。出力は約7,000kW。事業化に際してタケエイが80%、田村市が20%出資し、事業主体となる「(株)田村バイオマスエナジー社」を設立。発電用のボイラは三菱日立パワーシステムズインダストリー(株)(神奈川)のパブリック流動床ボイラ(BFB)を採用。焼却によって福島第一原発事故による放射線物質が飛散する懸念への配慮として、バグフィルターでの処理後にHEPAフィルターでも処理する二重の体制をとり、燃焼によって発生する粉塵を99.97%以上取り除く。発電に伴って発生する熱利用は、発電所周辺に地元主体と共同で設立する予定の植物工場で使用することも検討中。震災復興地域での森林利用による産業活性化を後押しすることを目指す【(一社)環境金融研究機構：2018/08/31】

<http://rief-jp.org/ct10/82305>

■イギリス最大のバイオマス発電所を所有するドラックス社、自社が所有するバイオマス発電所から排出されるCO₂をビール業界に提供するために、炭素回収と貯蔵に取り組むパイロットプロジェクトを始めると発表。この夏、同国では副産物として

CO₂を作り出していた化学工場が製造を停止し、ビールに注入する泡に使うCO₂が不足するという事態に。以前から温室効果ガスの削減方法を模索していた同社が、英国ビール・パブ協会と議論して進めていくことになった。6ヶ月のテスト期間中、570万tのCO₂を回収し、毎日貯蔵する予定。これは1日あたり3万2千ポイント(約16,000ℓ)のビールを製造するのに十分な量に相当し、ヨークシャー市民全員が1ポイント(586ml)のビールを飲むために必要な炭素量を超えるという。同社は、今回の取り組みは排出されたCO₂をさらに有効活用することにつながり、自社の再生可能エネルギーを「カーボンマイナス」にすることができると意気込んでいる【IDEAS FOR GOOD：2018/09/03】

<https://ideasforgood.jp/2018/09/03/drax-fizz-in-the-drink/>

■北海道、2020年度の開校を目指す林業の担い手育成機関「北海道立林業大学校」(仮称)の基本計画案をまとめ。林業大学校は2年制で、学校教育法に基づく専修学校。定員は1学年40人。総事業費は15億円。旭川市の道立総合研究機構・林産試験場の建物を増改築し、本部機能を担う校舎を併設する。本年度内に名称を公募し、設置条例を制定する方針【北海道新聞：2018/09/06】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/225269>

■東芝プラントシステム(株)(神奈川)、H.I.S. SUPER 電力(株)(東京)が宮城県角田市に新設する「H.I.S.角田バイオマスパーク」発電所の建設プロジェクトを受注したと発表。受注したプロジェクトはパーム油を燃料に9,789kWのディーゼルエンジン発電機を4台設置して発電し、更にその排熱を利用して1,940kWの蒸気タービンによる発電を行う総出力41,100kWのバイオマス専焼発電設備。同社はプロジェクト管理、エンジニアリング、土木建築工事、各種機器・設備の手配・供給、据付工事及び試運転調整までをEPCで請負う。2018年12月に現地着工、2020年3月の完工を目指す【東芝プラントシステム(株)：2018/09/06、日経XTECH：2018/09/09】

<http://www.toshiba-tpsc.co.jp/pdf/topics/20180906.pdf>

<https://tech.nikkeibp.co.jp/dm/atcl/news/16/090911480/>

■林野庁、「平成29年木質バイオマスエネルギー利用動向調査」の結果(速報)をプレスリリース。同庁が木質バイオマスをエネルギー利用している発電機及びボイラを有する事業所を対

象とし、事業所の概要、利用した設備の動向、公的補助の活用状況、利用した木質バイオマス量について調査。その動向等について公表している。平成 29 年の調査では、調査対象として全国 1,447 事業所のうち、1,398 事業所が回答(回答率 97%)。平成 29 年にエネルギーとして利用された木材チップの量は、全体で 872.6 万 t (前年比 99.2 万 t 増)。このうち「間伐材・林地残材等」に由来する木材チップは、263.5 万 t (前年比 71.7 万 t 増)、「製材等残材」に由来する木材チップは、150.1 万 t (前年比 14.9 万 t 減)、「建設資材廃棄物」に由来する木材チップは、412.6 万 t (前年比 14.6 万 t 増)。木材チップ利用量は前年に比べ 36 道府県で合計 74.7 万 t 増加する一方で、7 県で合計 3 万 t 減少。北海道、宮崎、岩手、新潟、大分等では、木質

バイオマス発電施設の新設や本格稼働などにより大幅に増加した。利用量(確定値)、利用した事業所の概要及び利用した設備の利用動向等については、本年 12 月に公表予定【林野庁：2018/09/07】

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/180907_9.html

■林野庁、「平成 29 年の特用林産物の生産動向について」とりまとめ、プレスリリース。木炭は(対前年比)4.9%減少。竹炭は 28.0%増加。薪は 0.3%増加。詳細は下記サイトを参照【林野庁：2018/09/07】

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/tokuyou/180907.html>

※*OSR*：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

2. ペレット関連情報

■(株)トモエテクノ(東京)、家庭用最も小さい壁掛け式給湯暖房用ペレットボイラ“THERM”(オーストリア・GUNTAMATIC 社製、出力 5~10kW)の取り扱いを開始。効率 95%の高性能を誇り、かつコンパクトで軽量。新築物件、高気密高断熱の既存物件のリフォームにも適合。比較的大きな熱需要を必要とする古い建物でも、バッファータンク無しで稼働可能。火床の高さを変更することにより暖房効率を最大化でき、非常に厳しい排出基準にも準拠。また同社は、同じく GUNTAMATIC 社のサイロ付小型ペレットボイラ“BIOSTAR”(出力 12~23kW)の取り扱いも開始。両製品共、燃焼室、熱交換器、そして火格子部分を自動でクリーニングする機構を備えており、大きめの灰受けボックスがあるため、メンテナンスが簡単。燃料は ENplusA1 クラスのペレットとなる。価格は不明。詳細は同社ホームページを参照【(株)トモエテクノ：2018/07/27】

<http://www.tomoe-techno.co.jp/index.html#seihin>

■千代田化工建設(株)(神奈川)、袖ヶ浦バイオマス発電(株)(大阪)が千葉県袖ヶ浦市で計画している国内最大級の 7.5 万 kW バイオマス専焼発電所建設工事にて、設計・調達・建設および試運転までの EPC 業務を受注したと発表(8 月 14 日)。袖ヶ浦バイオマス発電は大阪ガス(株)(大阪)100%子会社の(株)ガスアンドパワー(大阪)が 100%株主の事業運営会社。このプロジェクトは旭化成(株)千葉工場内に建設するバイオマス専焼発電所と、日本燐酸(株)(千葉)の事業所内に建設するバイ

オマス燃料(木質ペレット)の貯蔵サイロ設備一式に関する EPC 業務。商業運転開始後 2 年間の定期整備業務も請け負うことになっている。同発電所の発電設備は、現時点では韓国の斗山重工業グループが製作する循環流動床ボイラとスチームタービンを採用することになっている。運転開始は 2022 年 7 月の予定【千代田化工建設(株)、エネクトニュース：2018/08/16】

<https://www.chiyodacorp.com/media/180814.pdf>

http://www.eco-front.com/news_etjR1vraZK.html&ct=ga&

■東洋エンジニアリング(株)(千葉)、兵庫県姫路市で大規模太陽光発電所(メガソーラー、発電出力 7 万 2,000kW)の建設計画をパシフィコ・エナジー(株)(東京)が出資するパシフィコ・エナジー夢前合同会社(東京)から受注。受注額は 100 億円超とみられる。東洋エンジが設計から資材調達、試運転まで一括で請け負う。同社はこれまで国内で計 9 件のメガソーラーを受注。さらに今年 6 月 4 日には、大林神栖バイオマス発電(株)(東京)が茨城県神栖市に計画する木質ペレットを燃料とするバイオマス専焼発電所(50MW 級)建設プロジェクトを(株)大林組(東京)と共同で受注している。バイオマス発電などを含めた再生可能エネルギー分野でさらなる受注拡大を狙う【日本経済新聞：2018/08/21、エネクトニュース：2018/08/22】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ034398400R20C18A8916M00/?ct=ga>

http://www.eco-front.com/news_etUMKkgSB8_642.html

■静岡県小山町、今年7月に公募していた「平成30年度森の金太郎発電所管理運営業務企画提案募集」の審査結果について公表。業務委託候補者は、大日本コンサルタント(株)静岡営業所を代表とし、三洋貿易(株)(東京)、大和リース(株)名古屋支店(愛知)、静東森林経営共同組合(静岡)を構成員とする共同企業体。契約限度額は20,970,137円(税込)【小山町：2018/08/24】

https://www.fuji-oyama.jp/top_news_201808240904443.html

■三洋貿易(株)(東京)、大日本コンサルタント(株)(東京)と静岡県小山町に合弁会社「合同会社ふじおやまパワーエナジー」を8月27日付けで設立したと発表。資本金は1,000万円。出資比率は大日本コンサルタント80%、三洋貿易20%。今後、未利用間伐材等を活用した木質ペレットを発電資源とする小山町の木質バイオマス発電所の管理運営を行う。具体的には1)発電事業の運営、2)発電設備のメンテナンス、3)各種エネルギーに関する技術開発、企画、コンサルティング、等を実施する予定【三洋貿易(株)：2018/08/27】

<http://fs.magicalir.net/tdnet/2018/3176/20180827400808.pdf>

■住友商事(株)(東京)、100%子会社のサミットエナジー(株)(東京)を通じ、サミット酒田パワー(株)(山形)において山形県酒田市に建設を進めてきた「酒田バイオマス発電所(発電容量5万kW)」の商業運転を8月23日に開始したと発表。同発電所はサミットエナジーが2012年12月に設立したサミット酒田パワーを事業主体として建設し、運営も行う。発電容量は5万kWと、東北で最大級。燃料は山形県産を中心とした未利用材や林地残材等を活用した国産チップを約4割。(株)北越マテリアル(福島)と、2017年に山形県新庄市に建設した新庄工場、集成材を作った際に発生する端材をチップにして供給する協和木材(株)(東京)から安定確保する計画。このほか輸入ペレットや補助燃料として北海道釧路の石炭も利用。2.5カ月分の燃料に相当する約3万tのペレットを保管する倉庫を、クルーズ船も就航する岸壁の近くに整備。発電した電気はグループ企業のサミットエナジーを通じて主に東日本の企業や自治体など電力需要家に販売。総事業費は250億円【日本経済新聞、住友商事(株)：2018/08/28】

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ034694210Y8A820C1L>

[01000/?ct=ga](https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/news/release/2018/gro)

<https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/news/release/2018/gro>
[up/10640](https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/news/release/2018/gro)

■林野庁中部森林管理局、「バイオマス原料供給の本格的実施」についてプレスリリース。これまであまり利用されることなく放置されてきた林地残材(枝条及び端材[D材])がどこにどれだけ発生するのかといった情報を8月30日からホームページで公表。幅広い業種の買い受け希望者が手軽に購入できる仕組みを今年度から本格的に実施する。林地残材の主な用途として、燃料用チップやペレット製造、薪ストーブ、ピザ窯、キャンプで使う薪の生産、公園や遊歩道のチップ舗装などが挙げられている。買い受けする側の資格や登録は不要であり、誰でも購入可能とのこと。販売する場所、D材予定量等詳細は下記サイト参照【中部森林管理局：2018/08/30】

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/press/hanbai/180830.html>

■製紙国内5位の北越コーポレーションは子会社の(株)北越マテリアル(福島)を通じ、山形県酒田市で木質バイオマス発電の燃料に使う木材チップ工場新設へ。約6億円を投じ、2019年3月にも稼働。チップは住友商事グループに供給する。国内ではバイオマス発電所の建設が相次いでおり燃料が不足気味。供給力を高めて伸びる需要を取り込む【日本経済新聞：2018/09/01】

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ034844110R30C18A8L>
[01000/?ct=ga](https://www.nikkei.com/article/DGKKZ034844110R30C18A8L)

■サンポット(株)(岩手)、花巻市上町にある自社常設展示場「ホットほっとショールーム」を9月9日をもって閉店に。開設より7年間、様々なイベントやペレットストーブの展示を開催。移転・改装で年々バージョンアップしてきた展示場の姿とイベントの様子等を一本の映像にまとめ、サンポットオフィシャルブログ「ぼかぴょん通信」で公開中。同社製品の販売は引き続き行うとのこと【サンポットオフィシャルブログ「ぼかぴょん通信」：2018/09/03、2018/09/20】

<https://www.sunpot.co.jp/blog/>

■静岡県小山町が同町上野に建設を進めていた木質バイオマス発電所「森の金太郎発電所」が完成し、9月2日に開所式を実施。約995㎡の敷地に木造2階建て、延べ床面積約260㎡

の施設。ドイツ社製のガス化熱電併給装置を導入。製材作業の過程で不要となった木材で作った木質ペレットを燃やし、排出されたガスを燃焼してエンジンを動かし発電する。発電能力は最大 180kW で、当面は東京電力に売電。災害時は公共施設の電源に活用する。付近で整備が進む施設園芸団地などに冷却余熱を供給する予定で、ペレットの灰はスコリア層の山へ戻し、地域資源を循環させる。総事業費は 2 億 9,593 万円。静岡県が 7,536 万円を負担。【静岡新聞：2018/09/03、タウンニュース：2018/09/08】

<http://www.at->

<s.com/news/article/politics/shizuoka/535795.html>

<https://www.townnews.co.jp/0608/2018/09/08/447857.html>

■林野庁、「平成 29 年における木質粒状燃料（木質ペレット）の生産動向について」を取りまとめ、プレスリリース。平成 29 年における木質ペレットの生産量は 12.7 万 t、前年から 0.6 万 t 増加。都道府県別生産量の上位 5 位は、岡山県（28,803t、製材残材中心）、沖縄県（20,255t、建設発生木材中心）、宮崎県（13,984t、丸太・林地残材中心）、北海道（6,324t、丸太・林地残材中心）、高知県（5,031t、製材残材が主）となった。沖縄県、岡山県、奈良県等 20 府県では生産量が計 1.3 万 t 増加したのに対し、宮崎県、熊本県等 18 道府県では生産量が計 0.6 万

t 減少。全体として生産量は 0.6 万 t の微増に。工場数は岐阜県、奈良県等 6 県で計 6 工場増加する一方で、群馬県、新潟県等 6 府県で計 7 工場減少し、前年比 1 工場減の 147 工場となった。詳細は下記サイトを参照【林野庁：2018/09/07】

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/180907.html>

■静岡県牧之原市と（株）レノバ（東京）、「（仮称）御前崎港バイオマス発電事業」環境影響評価準備書の縦覧および意見募集を開始。同事業は木質バイオマスを燃料とする火力発電所を建設するもので、対象区域は御前崎市港と牧之原市。区域内の海に囲まれた埋立地（人工島）に発電所を建設する予定で、海外から輸入する木質燃料（主に木質ペレット）を大型のバルク船で輸送するための条件に合致している。

発電所の出力は 74,950kW。準備書は 2018 年 9 月 12 日（水）～10 月 12 日（金）まで静岡市、御前崎市、牧之原市内の指定の施設、およびレノバのサイト（下記）より縦覧可能。意見の提出は 10 月 26 日（金）まで【牧之原市、（株）レノバ：2018/09/12】

<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/bg/kurashi/ent/10686.html>

http://www.renovainc.jp/omaezakikou_biomass_EIA_2018.html

※OSR：バイオマス・再可エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報（国内）

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

◆クリーンウッド建築・建設関連登録促進協議会「建築・建設事業者向けクリーンウッド法に基づく登録のためのセミナー・個別相談会」

月日 2018 年 10 月 3 日（水）

場所 フォレスト仙台（宮城県仙台市）

<http://www.howtec.or.jp/files/libs/2272/201808091442196219.pdf>

◆（特非）日本国際湿地保全連合勉強会「そもそもパリ協定とは？～日本の動きとこれから注目するポイント～」

月日 2018 年 10 月 3 日（水）

場所 地球環境パートナーシッププラザ（GE00）（東京都渋谷区）

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc0AylinsDzQrSDi12YnEgpHe-f0CkpNYS0B4-IWdz7AStGHA/viewform>

◆NEDO「平成 30 年度 NEDO 新エネルギー成果報告会」

月日 2018 年 10 月 3 日（水）～4 日（木）

場所 パシフィコ横浜 アネックスホール（神奈川県横浜市）

http://www.nedo.go.jp/events/FF_100108.html

◎第 13 回しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア 2018」

月日 2018年10月4日(木)

場所 ポートメッセなごや第3展示館(愛知県名古屋市)

<https://www.shinkin-businessfair.jp/>

◎日報ビジネス「廃棄物・環境セミナーウィーク 2018in 関西」

月日 2018年10月3日(水)～5日(金)

場所 大阪産業創造館5階 研修室A B(大阪府大阪市)

<https://www.nippo.co.jp/seminar/w18o1003-05.htm>

◆(公財)自然エネルギー財団 グリーン・ビルディングシンポジウム「脱炭素化に向かう建築・住宅～エネルギー効率化と自然エネルギーのシナジー～」

月日 2018年10月5日(金)

場所 BASE-Q 東京ミッドタウン日比谷 6階(東京都千代田区)

<https://www.renewable->

[ei.org/activities/events/20181005.html](https://www.renewable-ei.org/activities/events/20181005.html)

◆第10回市民・地域共同発電所全国フォーラム in 飯田実行委員会「第10回市民・地域共同発電所全国フォーラム in 飯田」

月日 2018年10月5日(金)～7日(日)

場所 長野県飯田市公民館(長野県飯田市)

<http://www.shin-ene.net/information/4503>

◎フジモクの家 暮らしのイベント『暮らし市場3』

月日 2018年10月7日(日)

場所 キト暮ラスカ(静岡県富士市)

<http://www.fujimokunoie.jp/blog/180925>

◆とちぎ木材フェスティバル実行委員会「とちぎ木づかい条例制定記念 とちぎ木づかいフェス～もくもくまつり 2018～」

月日 2018年10月8日(月)

場所 栃木県庁県民広場(栃木県宇都宮市)

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d07/kouhou/kidukaifes2018.html>

◆BioJapan 組織委員会「Bio Japan 2018」

月日 2018年10月10日(水)～12日(金)

場所 パシフィコ横浜(神奈川県)

<https://www.ics-expo.jp/biojapan/ja/>

◆兵庫県立大学特別講演会「森林流域の防災科学」

月日 2018年10月11日(木)

場所 兵庫県立大学環境人間学部新在家キャンパス会議室(兵庫県姫路市)

<http://hyogo->

[nourinsuisangc.jp/sinrin/images/kenritsudai2018.pdf](http://hyogo-nourinsuisangc.jp/sinrin/images/kenritsudai2018.pdf)

◆京王電鉄(株)京王あそびの森 HUGHUG <ハグハグ>の木育イベント「東京の木で遊ぼう、東京の森を学ぼう」

月日 2018年10月11日(木)～14日(日)

場所 京王あそびの森 HUGHUG(東京都日野市)

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000217.000022856.html>

◆NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク第178回研究会「ポストFITを考慮した木質バイオマス発電の方向性～発電タイプごとのコスト構造と将来のコスト低下の可能性～(仮題)」

月日 2018年10月12日(金)

場所 地球環境パートナーシッププラザ(東京都渋谷区)

<http://www.npobin.net/apply/>

◆気候変動イニシアティブ「気候変動アクション日本サミット」

月日 2018年10月12日(金)

場所 虎ノ門ヒルズフォーラムメインホール(東京都港区)

<https://japanclimate.org/news-topics/japan-climate-action-summit-2018/>

◆クリーンウッド建築・建設関連登録促進協議会「建築・建設事業者向けクリーンウッド法に基づく登録のためのセミナー・個別相談会」

月日 2018年10月12日(金)

場所 名古屋国際会議場(愛知県名古屋市)

<http://www.howtec.or.jp/files/libs/2272/201808091442196219.pdf>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所「一般公開」

月日 2018年10月13日(土)

場所 森林総合研究所東北支所(岩手県盛岡市)

http://www.ffpri.affrc.go.jp/thk/events/documents/30_jppankoukai_1.pdf

◆富山県「とやま木と住まいフェア2018」

月日 2018年10月13日(土)

場所 富山県農林水産総合技術センター木材研究所(富山県射水市)

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/kj00000672.html

◆NPO 法人九州バイオマスフォーラム 暖談の会「薪づくりワークショップ」

月日 2018年10月13日(土)

場所 熊本YMCA尾ヶ石保育園(熊本県阿蘇市)

<http://kbiomass.org/2018/09/1013%e5%9c%9f%e8%96%aa%e3%81%a5%e3%81%8f%e3%82%8a%e3%83%af%e3%83%bc%e3%82%af%e3%82%b7%e3%83%a7%e3%83%83%e3%83%97%e3%82%92%e9%96%8b%e5%82%ac%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99%ef%bc%81/>

◎(株)スタジオセンス、他「木質ペレットふれあいフェスタ2018 in やまぐち」

月日 2018年10月13日(土)~14日(日)

場所 (株)スタジオセンス(山口県山口市)

<http://s-sense.info/event/2074/>

◆東京都 第38回「木と暮らしのふれあい展」

月日 2018年10月13日(土)~14日(日)

場所 都立木場公園イベント広場(東京都江東区)

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/08/28/11.html>

◎(株)サンコー「2018 とやまペレットストーブまつり」

月日 2018年10月14日(日)

場所 (株)サンコー(富山県富山市)

http://www.taiyoko-hatuden.net/weblog/2018/09/post_2197.html

◆クリーンウッド建築・建設関連登録促進協議会「建築・建設事業者向けクリーンウッド法に基づく登録のためのセミナー・個別相談会」

月日 2018年10月15日(月)

場所 エル・おおさか(大阪府大阪市)

<http://www.howtec.or.jp/files/libs/2272/201808091442196219.pdf>

◆(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所「平成30年度森林総合研究所公開講演会『水を育む森林』」

月日 2018年10月16日(火)

場所 ヤクルトホール(東京都港区)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2018/20181016koukaikouenkai/index.html>

◆林野庁「日本、中国、韓国による森林空間における保養活動推進フォーラム」

月日 2018年10月16日(火)

場所 黒姫童話館「童話の森ホール」(長野県上水内郡信濃町)

http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/180907.html

◆デンマーク王国大使館、他 国際シンポジウム「系統運用と自然エネルギーの大量導入 100%自然エネルギーを目指すデンマークの知見を学ぶ」

月日 2018年10月16日(火)

場所 BASE-Q 東京ミッドタウン日比谷6階(東京都千代田区)

<https://www.renewable-ei.org/activities/events/20181016.php>

◆(株)森林環境リアライズ「平成30年度林地未利用材集荷システム実証事業に伴う意見交換会」

月日 2018年10月16日(火)~18日(木)

場所 16日は中頓別町内、17日は上川町内、19日は京極町内

<http://www.f-realize.co.jp/information/index.cgi?no=59>

◎びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会事務局「びわ湖環境

ビジネスメッセ 2018」

月日 2018年10月17日(水)～19日(金)

場所 長浜バイオ大学ドーム(滋賀県長浜市)

<https://www.biwako->

[messe.com/sys/users/entry_input?gclid=EAlaIqobChMI9bL_3o3a3QIVCwYqChOX4AbbEAAAYASAAEgK1ePD_BwE](https://www.biwako-messe.com/sys/users/entry_input?gclid=EAlaIqobChMI9bL_3o3a3QIVCwYqChOX4AbbEAAAYASAAEgK1ePD_BwE)

◆栃木県「とちぎ林業グランプリ 2018in みぶ」

月日 2018年10月20日(土)

場所 北関東自動車道 みぶハイウエーパーク/とちぎわんぱく公園(栃木県下都賀郡壬生町)

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d07/kouhou/rinngyougurannpuri2018---.html>

◆檜原村「檜原村で薪づくり体験～数馬の湯の薪をつくろう!～」(第1回)

月日 2018年10月20日(土)

場所 檜原村内(東京都檜原村)

<https://www.tvac.or.jp/sagasu/44497>

◆福島県「第43回福島県林業祭」

月日 2018年10月20日(土)～21日(日)

場所 福島県林業研究センター、ホテルバーデン(福島県郡山市)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/282737.pdf>

◆世界循環経済フォーラム 2018

月日 2018年10月22日(月)～23日(火)

場所 パシフィコ横浜国際会議場(神奈川県横浜市)

<http://www.env.go.jp/press/105046.html>

◆SIP リグニン 2018 公開シンポジウム 森と土のマテリアルイノベーション「希望の新素材『改質リグニン』のビジネス戦略」

月日 2018年10月23日(火)

場所 産総研臨海副都心センター 別館(東京都江東区)

<http://lignin.ffpri.affrc.go.jp/news-event/11.html>

◆クリーンウッド建築・建設関連登録促進協議会「建築・建

設事業者向けクリーンウッド法に基づく登録のためのセミナー・個別相談会」

月日 2018年10月23日(火)

場所 広島国際会議場(広島県広島市)

<http://www.howtec.or.jp/files/libs/2272/201808091442196219.pdf>

◆東海・北陸市町村森林フォーラム「市町村の森の仕事を語るう! ～市町村森林行政の内容と展望～」

月日 2018年10月24日(水)

場所 信州大学(伊那キャンパス)農学部15番講義室(長野県南箕輪村)

<http://www.j->

[fic.com/news/10%E6%9C%8824%E6%97%A5%E3%81%AB%E4%BF%A1%E5%B7%9E%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E3%81%A7%E3%80%8C%E5%B8%82%E7%94%BA%E6%9D%91%E3%81%AE%E6%A3%AE%E3%81%AE%E4%BB%95%E4%BA%8B%E3%82%92%E8%AA%9E%E3%82%8D%E3%81%86.html](http://www.j-fig.com/news/10%E6%9C%8824%E6%97%A5%E3%81%AB%E4%BF%A1%E5%B7%9E%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E3%81%A7%E3%80%8C%E5%B8%82%E7%94%BA%E6%9D%91%E3%81%AE%E6%A3%AE%E3%81%AE%E4%BB%95%E4%BA%8B%E3%82%92%E8%AA%9E%E3%82%8D%E3%81%86.html)

◆(一社)日本サステナブルコミュニティ協会 サステナブルコミュニティ勉強会 in 三重「地域に即したサステナブルコミュニティづくりへ向けて～地域資源を活用した木質バイオマス熱電併給と地方創生～」

月日 2018年10月26日(金)

場所 三重県津市アストプラザ4階多目的ホール(三重県津市)

<https://www.jsc-a.or.jp/news/1040>

◎南丹木質バイオマス普及の会「ひよし 木のバイオマスフェス～森のめぐみをくらしにいかす～」

月日 2018年10月28日(日)

場所 道の駅スプリングひよし(京都府南丹市)

http://hibana.co.jp/_src/33816/biomassfair.pdf

◆クリーンウッド建築・建設関連登録促進協議会「建築・建設事業者向けクリーンウッド法に基づく登録のためのセミナー・個別相談会」

月日 2018年10月29日(月)

場所 天神クリスタルビル(福岡県福岡市)

<http://www.howtec.or.jp/files/libs/2272/2018080914421962>

[19.pdf](#)

◆NPO 法人農都会議 バイオマス WG/農都・地域支援 G 10 月勉強会「林業の次世代を担う人材教育の最新事例～林業従事者をいかに増やすか！魅力ある林業とはを考える～」

月日 2018 年 10 月 29 日（月）

場所 港区神明いきいきプラザ 4 階集会室 A（東京都港区）

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/218>

◆国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターシンポジウム「次世代へつなぐ森林の恵み」

月日 2018 年 10 月 30 日（火）

場所 宮崎市民プラザ オルブライトホール（宮崎県宮崎市）

https://www.green.go.jp/topics/pdf/topics_18082901.pdf?180830

◆クリーンウッド建築・建設関連登録促進協議会「建築・建設事業者向けクリーンウッド法に基づく登録のためのセミナー・個別相談会」

月日 2018 年 11 月 1 日（木）

場所 高松商工会議所（香川県高松市）

<http://www.howtec.or.jp/files/libs/2272/201808091442196219.pdf>

◆（公社）静岡県山林協会「平成 30 年度林業就業支援講習」

月日 2018 年 11 月 1 日（木）～11 月 17 日（土）

※土曜日（11 月 3 日、10 日）、日曜日、祝日を除く 13 日間

場所 静岡県内

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-380/ringyoushuugyousiennkoushuu.html>

◆福島県「第 1 回ふくしま植樹祭」、「第 6 回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」

月日 2018 年 11 月 4 日（日）

場所 海岸防災林（福島県南相馬市鹿島区北海老地内）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055d/1syokuzyusai.html>

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/10,42751,148.html>

◆ウータン・森と生活を考える会「ウータン 30 周年記念海外

ゲスト講演「熱帯林保護のこれまで、森林再生のこれから」

月日 2018 年 11 月 6 日（火）

場所 地球環境パートナーシッププラザ（GE00）セミナースペース（東京都渋谷区）

http://hutangroup.org/?ai1ec_event=11-6-%E7%81%AB%E3%82%A6%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%83%BB%E6%A3%AE%E3%81%A8%E7%94%9F%E6%B4%BB%E3%82%92%E8%80%83%E3%81%88%E3%82%8B%E4%BC%9A30%E5%91%A8%E5%B9%B4%E8%A8%98%E5%BF%B5%E6%B5%B7%E5%A4%96&instance_id=10

◆第 7 回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（REIF ふくしま 2018）

月日 2018 年 11 月 7 日（水）～8 日（木）

場所 ビッグパレットふくしま（福島県郡山市）

<http://reif-fukushima.jp/>

◆木質外被研究開発プラットフォーム、他「木質外被研究開発プラットフォームシンポジウム 2018」

月日 2018 年 11 月 9 日（金）

場所 まつもと市民芸術館小ホール（長野県松本市）

<http://www.shin-ene.net/information/4544>

◆第 42 回全国育樹祭東京都実行委員会事務局「育林交流集会」

月日 2018 年 11 月 17 日（土）

場所 青梅市総合体育館（東京都青梅市）

<https://www.42nd-ikujusai.tokyo.jp/event/h300723/>

◆林野庁「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」

月日 2018 年 11 月 17 日（土）

場所 ラコパふくしま（福島県福島市）

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaihatu/180830.html>

◆山口県「阿武川流域 森林(もり)だくさん祭り」

月日 2018 年 11 月 17 日（土）

場所 森の館萩（山口県萩市）

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17700/rocal/rocalrecruit/201710050001.html>

◆農水省「アグリビジネス創出フェア 2018」

月日 2018年11月20日(火)～22日(木)

場所 東京ビッグサイト西1ホール(東京都江東区)

<http://agribiz-fair.jp/>

◆国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所技術セミナー「地域材を活用したセルロースナノファイバーの用途技術開発」

月日 2018年11月20日(火)

場所 森林総合研究所東北支所大会議室(岩手県盛岡市)

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2018/20181120cnf/index.html>

◆NPO 法人農都会議 バイオマス WG/農都交流・地域支援 G 11月勉強会「木質バイオマスの熱利用のさらなる促進について～英国 RHI など内外の熱利用の状況から、日本における普及・促進策を提案する～」

月日 2018年11月28日(水)

場所 港区神明いきいきプラザ 4階集会室A(東京都港区)

<http://blog.canpan.info/bioenergy/archive/220>

◆檜原村「檜原村で薪づくり体験～数馬の湯の薪をつくるう！～」(第2回)

月日 2018年12月2日(日)

場所 檜原村内(東京都檜原村)

<https://www.tvac.or.jp/sagasu/44497>

◆新社会システム総合研究所セミナー「英国の自治体電力ビジネスモデル」

月日 2018年12月3日(月)

場所 SSKセミナールーム(東京都港区)

http://www.ssk21.co.jp/seminar/S_18337.html

◆(一社)産業環境管理協会、他「エコプロ 2018」

月日 2018年12月6日(木)～8日(土)

場所 東京ビッグサイト(東ホール)(東京都江東区)

<http://eco-pro.com/eco2018/>

◆「森林からはじまるエコライフ展 2018」～薪づくりと木づかいで拓く、SDGs時代の環境・社会・経済の未来の提案

(仮)～

月日 2018年12月6日(木)～8日(土)

場所 東京ビッグサイト(東ホール)(「エコプロ 2018」内)(東京都江東区)

http://eco-pro.com/eco2018/pdf/forest_exhibition_guidance_2018.pdf

◆林野庁「福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム」

月日 2018年12月9日(日)

場所 大田区産業プラザ Pio(東京都大田区)

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kaihatu/180830.html>

◆日本エネルギー学会バイオマス部会「第14回バイオマス科学会議」

月日 2019年1月16日(水)～18日(金)

場所 16～17日:東広島芸術センターくらら(広島県東広島市)、18日:テクニカルツアー

<https://www.jie.or.jp/publics/index/629/>

◆WOOD コレクション(モクコレ) 2019 実行委員会「WOOD コレクション(モクコレ) 2019」

月日 2019年1月29日(火)～30日(水)

場所 東京ビッグサイト東7・8ホール(東京都江東区)

https://www.sekai2020.tokyo/20180625_mokucolle/

◆グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会「第6回グリーンイメージ国際環境映像祭」

月日 2019年2月22日(金)～24日(日)

場所 日比谷図書文化館コンベンションホール(東京都千代田区)

<https://green-image.jp/filmfestivals/6th/>

◆リードエグジビションジャパン(株)「スマートエネルギー Week 2019」

月日 2019年2月27日(水)～3月1日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<http://www.reedexpo.co.jp/ja/Expo/207372/Week>

◎リードエグジビションジャパン(株)「第4回 国際バイオマス発電展」

月日 2019年2月27日(水)～3月1日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<http://www.reedexpo.co.jp/ja/Expo/1166848>

■日報ビジネス(株)「2019地球温暖化防止展」

月日 2019年3月12日(火)～15日(金)

場所 東京ビッグサイト(東京都江東区)

<http://www2.nippo.co.jp/stop-ondanka18/>

■(一社)日本森林学会「第130回日本森林学会大会」

月日: 2019年3月20日(水)～23日(土)

場所: 新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」(新潟県新潟市)

<https://www.forestry.jp/>

◎フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)

・「次世代森林産業展 2019 FORESTRISE 2019 Innovative & Integrative Woods Industries」

・「バイオマスエキスポ 2019 Nagano」

月日 2019年8月1日(木)～8月3日(土)

場所 ビッグハット/若里ホール(長野県長野市)

<http://www.forestrise.jp/>

■ISAP2020 日本開催組織委員会「国際応用藻類学会第7回大会(ISAP2020)」

月日 2020年4月20日(月)～24日(金)

場所 幕張メッセ(千葉県千葉市)

<http://v4.eir->

[parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880](http://v4.eir-parts.net/v4Contents/View.aspx?cat=tdnet&sid=1627880)

■日報ビジネス(株)「2020地球温暖化防止展」

月日 2020年4月22日(水)～24日(金)

場所 インテックス大阪(大阪府)

<http://www2.nippo.co.jp/stop-ondanka18/>

4. イベント情報(海外)

◆2nd Biomass Trade & BioEnergy Africa

2018年10月2日(火)～3日(水)

場所 ヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)

<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=181026&>

◆I Seminar BIOFUELS -law, market and trends -

月日 2018年10月3日(水)

場所 ワルシャワ(ポーランド)

<https://cbepolska.pl/en/seminar-biofuels.html>

◎USIPA's EXPORTING PELLETS CONFERENCE

月日 2018年10月8日(月)～10日(水)

場所 イリノイ州シカゴ(USA)

<http://www.usipaconference.com/conference/announcement>

◆Argus Biofuels 2018

月日 2018年10月8日(月)～11日(木)

場所 ロンドン(UK)

<https://www.argusmedia.com/conferences-events-listing?page=1>

◆The 10th PALMEX Indonesia 2018

月日 2018年10月9日(火)～11日(木)

場所 メダン(インドネシア)

<http://www.palmoilexpo.com/>

◎International Biomass Congress & Expo

月日 2018年10月10日(水)～11日(木)

場所 ベルリン(ドイツ)

<http://www.bioenergy->

[news.com/conference/biomass/biomass_index.php](http://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index.php)

◆International Biogas Congress & Expo

月日 2018年10月10日(水)～11日(木)

場所 ベルリン(ドイツ)

<http://www.bioenergy->

news.com/conference/biogas/biogas_index.php

◆IBBK Biogas : Science Meets Practice, international conference with trade exhibition and excursion 'Progress in the treatment and use of manure and digestate

月日 2018年10月16日(火)～17日(水)

場所 シュヴェービッシュ・ハル(ドイツ)

<http://www.ibbk-biogas.de/en-gb/schedule>

◆11th Annual EFIB 2018

月日 2018年10月16日(火)～18日(木)

場所 トゥールーズ(フランス)

<https://efibforum.com/>

◆BIOENERGYSTRONG 2018

月日 2018年10月17日(水)～18日(木)

場所 クイーンズランド州(オーストラリア)

<https://www.bioenergyaustralia.org.au/home/>

◆International Power Industry, Energy Efficiency, Infrastructure and Environmental Technology Fair

月日 2018年10月19日(金)～21日(日)

場所 リガ、キプサラ地区(ラトビア共和国)

<http://www.bt1.lv/ee/eng/>

◆Argus Biofuels & Carbon Markets Summit

月日 2018年10月22日(月)～24日(水)

場所 カリフォルニア州ナパバレー(USA)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biofuels-and-carbon-markets-summit>

◆RENEXP0 BiH

月日 2018年10月24日(水)～25日(木)

場所 サラエボ(ボスニア・ヘルツェゴビナ)

<http://www.renexpo-bih.com/index.php?id=7&L=1>

◆Argus Biomass Nordics and Baltics

月日 2018年10月29日(月)～31日(水)

場所 コペンハーゲン(デンマーク)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events->

listing/biomass-nordics-baltics

◆Seagriculture 2018/7th International Seaweed Conference

月日 2018年11月6日(火)～7日(水)

場所 ゴールウェイ(アイルランド)

<https://seagriculture.eu/>

◆The 7th IBBA workshop

月日 2018年11月6日(火)～7日(水)

場所 ノルショーピン(スウェーデン)

<https://www.ibbaworkshop.eu/06-11-norrkoping-home/>

◆ECOMONDO

月日 2018年11月6日(火)～9日(金)

場所 リミニ(イタリア)

<https://en.ecomondo.com/>

◆European Biomass to Power

月日 2018年11月7日(水)～8日(木)

場所 スtockホルム(スウェーデン)

<http://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

◆Future of Biogas Europe 2018

月日 2018年11月7日(水)～8日(木)

場所 ロンドン(UK)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

◆European Biosolids & Organic Resources Conference

月日 2018年11月13日(火)～14日(水)

場所 リーズ(UK)

<http://european-biosolids.com/>

◆28th BIOGAS Convention - parallel to the EnergyDecentral

月日 2018年11月13日(火)～16日(金)

場所 ハノーバー(ドイツ)

<https://www.biogas-convention.com/en/>

◆BIOGAS Convention

月日 2018年11月14日(水)～16日(金)

場所 ハノーバー（ドイツ）

<https://www.biogas.org/edcom/webfvb.nsf/id/EN-Biogas-Convention>

◆POLLUTEC 2018

月日 2018年11月27日（火）～30日（金）

場所 リヨン（フランス）

<http://www.pollutec.com/>

◆HEATEC Shanghai International Exhibition on Heating

月日 2018年11月28日（水）～30日（金）

場所 上海（中国）

<https://www.heatechina.com/Heatec17/Home/lang-eng/Information.aspx>

◆ENERGY FROM WASTE

月日 2018年12月4日（火）～5日（水）

場所 ロンドン（UK）

<http://www.smi-online.co.uk/energy/uk/conference/energy-from-waste>

◆ALGAEUROPE 2018

月日 2018年12月4日（火）～6日（木）

場所 アムステルダム（オランダ）

<http://algaeurope.org/>

◆3rd Biogas Congress

月日 2018年12月10日（月）～11日（火）

場所 ポズナン（ポーランド）

<http://magazynbiomasa.pl/en/kongres-biogazu/>

◆Biogas 18

月日 2018年12月11日（火）～12日（水）

場所 リンツ（オーストリア）

<http://www.kompost-biogas.info/veranstaltungen/kongress-biogas18/>

◆Value of Biogas 2019 WEST

月日 2019年1月15日（火）～16日（水）

場所 BC州バンクーバー（カナダ）

<http://www.biogasassociation.ca/vob2019%20>

◆BIOMASS TRADE SUMMIT EUROPE

月日 2019年1月16日（水）～17日（木）

場所 ロッテルダム（オランダ）

https://www.bioenergy-news.com/?utm_source=BUSINESS+%28-+policy%29&utm_campaign=d8b77ca74c-EMAIL_CAMPAIGN_2018_09_13_03_08&utm_medium=email&utm_term=0_bf7c58cc01-d8b77ca74c-245868161

◆Fuels of the Future 2019

月日 2019年1月21日（月）～22日（火）

場所 ベルリン（ドイツ）

<https://www.bioenergie.de/>

◎5th Biomass & BioEnergy Asia

月日 2019年1月23日（水）～24日（木）

場所 バンコク（タイ）

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190106&>

◆BOIS ENERGIE

月日 2019年1月30日（水）～31日（木）

場所 レンヌ（フランス）

<https://www.boisenergie.com/en/>

◆Biogaz Europe

月日 2019年1月30日（水）～31日（木）

場所 レンヌ（フランス）

<https://www.biogaz-europe.com/en/>

◆ReGen Europe

月日 2019年1月30日（水）～31日（木）

場所 レンヌ（フランス）

<https://www.regen-europe.com/en/>

◎4th Biomass Trade and Power Europe

月日 2019年2月12日（火）～13日（水）

場所 コペンハーゲン（デンマーク）

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=190203&>

◆9th ISCC Global Sustainability Conference

月日 2019年2月13日(水)

場所 ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.iscc-system.org/stakeholders/annual-iscc-global-sustainability-conference/>

◎European Pellet Conference

月日 2019年2月26日(火)~28日(木)

場所 ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/programme/european-pellet-conference.html>

◆World Sustainable Energy Days 2019

月日 2019年2月27日(水)~3月1日(金)

場所 ヴェルス(オーストリア)

<http://www.wsed.at/en/world-sustainable-energy-days.html>

◆ISH 2019

月日 2019年3月11日(月)~15日(金)

場所 フランクフルト(ドイツ)

<https://ish.messefrankfurt.com/frankfurt/en.html>

◆2019 International Biomass Conference & Expo

月日 2019年3月18日(月)~20日(水)

場所 ジョージア州サバンナ(USA)

<http://biomassmagazine.com/events/browse/>

◆Value of Biogas 2019 EAST

月日 2019年3月21日(木)~22日(金)

場所 オンタリオ州トロント(カナダ)

<http://www.biogasassociation.ca/vob2019%20>

◆FORST live

月日 2019年3月29日(金)~31日(日)

場所 オッフエンブルク(ドイツ)

<https://www.forst-live.de/en/forst-live-en>

◆WORLD BIO MARKETS

月日 2019年4月1日(月)~3日(水)

場所 アムステルダム(オランダ)

<https://www.biobasedworldnews.com/events/world-bio-markets>

◆International Green Energy Expo & Conference 2019

月日 2019年4月3日(水)~5日(金)

場所 Exhibition Hall, EXCO(韓国)

<http://www.energyexpo.co.kr/eng/>

◆Argus Biomass 2019

月日 2019年4月8日(月)~10日(水)

場所 ロンドン(UK)

<https://www.argusmedia.com/ja/conferences-events-listing/biomass>

◆14th Exhibition & Conference for South-East Europe -Energy Efficiency & Renewables-

月日 2019年4月16日(火)~18日(木)

場所 ソフィア(ブルガリア)

<https://viaexpo.com/en/pages/ee-re-exhibition>

◆Waste EXPO

月日 2019年5月6日(月)~9日(木)

場所 ネバダ州ラスベガス(USA)

<https://www.wasteexpo.com/en/home.html>

◆FORLENER

月日 2019年5月17日(金)~19日(日)

場所 エルバ(イタリア)

<http://www.forlener.it/default.aspx?idC=186>

◆6th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2019

月日 2019年5月20日(月)~21日(火)

場所 マルメ(スウェーデン)

<http://regatec.org/>

◆EUBCE 2019

月日 2019年5月27日(月)~30日(木)

場所 リスボン(ポルトガル)

<http://www.eubce.com/>

◆LIGNA 2019

月日 2019年5月27日(月)～31日(金)

場所 ハノーバー(ドイツ)

<http://www.ligna.de/home>

◆SkogsElmia

月日 2019年6月6日(木)～8日(土)

場所 ヨンショーピン

<https://www.elmia.se/SkogsElmia/>

◆35th Annual International Fuel Ethanol Workshop & Expo

月日 2019年6月10日(月)～12日(水)

場所 インディアナ州インディアナポリス(USA)

<http://www.fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

—

◆25. Internationale Forstmesse

月日 2019年8月15日(木)～18日(日)

場所 ルツェルン(スイス)

<http://www.forstmesse.com/htm/home.htm>

◆EFE 2019 - 3rd Trade Fair for Energy Efficiency in Industry

月日 2019年10月2日(水)～3日(木)

場所 クラクフ(ポーランド)

<http://www.efe.krakow.pl/gb/>

◎Biomass Brno

月日 2020年3月31日(火)～4月4日(土)

場所 ブルノ(チェコ共和国)

<https://www.bvv.cz/en/biomass/>

◆6th International Conference on Renewable Energy Gas Technology, REGATEC 2019

月日 2019年5月20日(月)～21日(火)

場所 マルメ(スウェーデン)

<http://regatec.org/>

◆KWF Tagung 2020

月日 2020年7月1日(水)～4日(土)

場所 ヘッセン州シュヴァルツェンボルン(ドイツ)

<http://www.kwf-tagung.org/kwf-tagung.html>

◆Elmia Wood

月日 2021年6月2日(水)～5日(土)

場所 ヨンショーピン(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/wood/>

5. 平成30年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報

※締切や公募の条件等の詳細は各自治体にお問い合わせください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◇札幌市「平成30年度市民向け札幌・エネルギーecoプロジェクト補助金制度」

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/ecopro/gaiyou/gaiyou4.html>

第4回：2018年9月28日(金)～11月2日(金)

第5回：2018年11月16日(金)～12月7日(金)

第6回：2019年1月4日(金)～2月1日(金)

※第6回は、第5回終了後に予算が残った場合のみ実施

◆札幌市「平成30年度中小企業者等向け札幌・エネルギーecoプロジェクト補助金制度」

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/ecopro/kigyou/kigyou.html>

第4回：2018年9月28日(金)～11月2日(金)

第5回：2018年11月16日(金)～12月7日(金)

第6回：2019年1月4日(金)～2月1日(金)

※第6回は、第5回終了後に予算が残った場合のみ実施

◇南幌町「家庭用ペレットストーブ購入費補助金」
[http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/seisaku/energiesuisinn/pe
rettosutobu000/](http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/seisaku/energiesuisinn/pe
rettosutobu000/)

【長野県】

◇安曇野市「平成 30 年度安曇野市ペレットストーブ導入促進
事業補助金（2 次募集）」
<http://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/30/36585.html>

◆須坂市「須坂市ペレットストーブ等設備導入費補助金」
<https://www.city.suzaka.nagano.jp/contents/item.php?id=5965a>

[e44c2d27](#)

◆茅野市「茅野市信州産ペレット消費拡大事業補助金」
[http://www.city.chino.lg.jp/www/contents/1000001077000/in
dex.html](http://www.city.chino.lg.jp/www/contents/1000001077000/in
dex.html)

【京都府】

◇長岡京市「平成 30 年度長岡京市薪ストーブ購入設置補助金」
<https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000007560.html>
※対象は薪ストーブのみ

6. 公募等情報（締切順）

◇（一社）環境共創イニシアチブ「平成 30 年度 地域の特性を
活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金（再生可能エ
ネルギー熱事業者支援事業）補助金の申請について（4 次公募）」
公募期間 2018 年 9 月 11 日（火）～10 月 5 日（金）
https://sii.or.jp/re_energy30/note4.html

◇NEDO「バイオマスエネルギーの地域自立システム化実証事業
／事業性評価（FS）、技術開発事業」に係る公募について」
公募期間 2018 年 9 月 10 日（月）～10 月 9 日（火）
http://www.nedo.go.jp/koubo/FF2_100237.html

◇長野県「平成 30 年度地域主導型自然エネルギー創出支援事
業」
第三次募集：2018 年 9 月 5 日（水）～10 月 10 日（水）
<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/happyou/180416press2.html>

◇長野県「平成 30 年度自然エネルギー地域発電推進事業」
第三次募集：2018 年 9 月 10 日（月）～10 月 10 日（水）
<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/happyou/180416press.html>

◇三井物産環境基金 ～未来につながる社会をつくる～
2018 年度 活動・研究助成案件の募集
募集締切 2018 年 10 月 20 日（土）
[https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/enviro
nment/fund/application/1226134_7661.html](https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/enviro
nment/fund/application/1226134_7661.html)

◇阪急阪神ホールディングス（株）「阪急阪神 未来のゆめ・ま
ち基金市民団体助成プログラム」
応募期間 2018 年 9 月 3 日（月）～10 月 23 日（火）
<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/kikin.html>

◇奈良県「再生可能エネルギー活用調査支援事業」
募集期間 2018 年 4 月 20 日（金）～10 月 31 日（水）
<http://www.pref.nara.jp/43635.htm>
※先着順につき、早期に受付を終了することがあります。

◇栃木県「低炭素社会づくり促進事業費補助金について【中小
企業者向け補助金】」
申請受付期間 2018 年 6 月 1 日（金）～11 月 9 日（金）
[http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukurih
ojo.html](http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/kouhou/teitansosyakaidukurih
ojo.html)

◇経産省東北経済産業局 平成 30 年度「東北地域カーボン・
オフセットグランプリ」の募集について
応募期間 2018 年 8 月 20 日（月）～11 月 15 日（木）
[http://www.tohoku.meti.go.jp/s_shigen_ene/j_credit/topics/180
820.html](http://www.tohoku.meti.go.jp/s_shigen_ene/j_credit/topics/180
820.html)

◇セブン - イレブン記念財団「2019 年度環境市民活動助成」
募集期間 2018 年 10 月 1 日（月）～2018 年 11 月 15 日（木）
<http://www.7midori.org/josei/index.html>

◇長野県長野市「【平成 30 年度】果樹剪定枝等まきストーブ活用推進事業」

申込締切 2018 年 11 月 16 日（金）

<http://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kankyo/12265.html>

◇鳥取県日南町「にちなん中国山地林業アカデミーの生徒募集」（一般選考）

※開校は来年 4 月～

募集期間 2018 年 9 月 25 日（火）～11 月 16 日（金）まで

http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/15/6/3/?utm_source=dvr.it&utm_medium=facebook

◇和歌山県「平成 30 年度 和歌山県木質バイオマス発電推進事業費補助金」

第 2 次締切 2018 年 10 月 15 日（月）～11 月 30 日（金）

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/063100/newenergy/biomass/mokushitsu.html>

◇長野県 平成 30 年度「1 村 1 自然エネルギープロジェクト」の登録募集

二次募集：2018 年 8 月 1 日（水）～11 月 30 日（金）

三次募集：2018 年 12 月 3 日（月）～2019 年 3 月 15 日（金）

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shizen/boshutoroku.html>

◇宮城県仙台市「民間防災拠点施設への再生可能エネルギー等導入補助」

募集期間 2018 年 4 月 2 日（月）～11 月 30 日（金）

<http://www.city.sendai.jp/kankyo/jigyosha/kankyo/hozen/kobo.html>

◇奈良県「平成 30 年度事業所省エネ推進事業補助金」

募集期間 2018 年 5 月 23 日（水）～11 月 30 日（金）

<http://www.pref.nara.jp/33062.htm>

◇埼玉県【平成 30 年度】埼玉県分散型エネルギー利活用設備整備費補助金

公募期間 2018 年 6 月 1 日（金）～12 月 21 日（金）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0503/bunnsanngata-hozyo.html>

◇茨城県「中小規模事業所省エネ対策設備導入補助金（平成 30 年度省エネ補助金）」

受付期間 2018 年 6 月 21 日（木）～2019 年 1 月 10 日（木）

<http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/kansei/chikyuhojokin.html>

◇徳島県「平成 30 年度脱炭素型設備転換支援事業補助金の公募について」

公募期間 2018 年 8 月 8 日（水）～2019 年 1 月 25 日（金）

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5003482/>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（認定設備）」

申請書提出期限 2019 年 2 月 28 日（木）

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizenparticipation/shoureikin-setubi.html>

◇神奈川県小田原市「市民参加型再生可能エネルギー事業奨励金（土地）」

申請書提出期限 2019 年 2 月 28 日（木）

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/energy/citizenparticipation/shoureikin-setubi-t.html>

◇あわら市観光協会「もりもりバイオマス視察研修」参加者募集

募集期間 2019 年 2 月中旬まで全 7 回（下記サイト参照）

<http://awara.info/3542>

◇兵庫県宍粟市「平成 30 年度：木質バイオマス燃料製造設備補助金」

受付期間 2018 年 4 月 2 日（月）～2019 年 3 月 14 日（木）

<http://www.city.shiso.lg.jp/kurashi/gomishinyokankyo/kankyorisaikuru/1515747829708.html>

◇東京都「地産地消型再生可能エネルギー導入拡大事業」

申請期間 2018 年 5 月 7 日（月）～2019 年 3 月 29 日（金）

<https://www.tokyo-co2down.jp/page.jsp?id=9304>

◇経産省資源エネルギー庁「省エネ再エネ高度化投資促進税制

(再生可能エネルギー部分)

適用期限 2018年6月20日(水)～2019年3月31日(日)

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/new/information/180404a/index.html

※対象設備に対する特別償却 20%の税制優遇

◇林野庁「省エネ再エネ高度化投資促進税制」

適用期間 2018年4月1日～2020年3月31日

<https://www.jwba.or.jp/%E6%96%B0%E8%A6%8F%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8-1/%E7%9C%81%E3%82%A8%E3%83%8D%E5%86%8D%E3%82%A8%E3%83%8D%E9%AB%98%E5%BA%A6%E5%8C%96%E4%BF%83%E9%80%B2%E7%A8%8E%E5%88%B6/>

◇京都府「自立型再生可能エネルギー導入等計画の認定及び導入支援制度」

申請期間 2015年10月1日(木)～2021年3月31日(水)

<http://www.pref.kyoto.jp/energy/documents/ninteiseidogaiyou.pdf>

◇東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度までの10年間

http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html

◇高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

◇新潟県柏崎市「柏崎市ECO2プロジェクト」

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/kankyoseisaku/machi/kankyo/eco2/ondanka.html>

◇山形県「木質バイオマス発電施設整備支援事業費補助金」

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050016/biomass.html>

◇高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

<http://www.city.kochi->

konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

◇栃木県「栃木県環境保全資金(省エネ設備等の導入)」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyou/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

◇徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

◇奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

◇資源エネルギー庁「グリーン投資減税」

http://www.enecho.meti.go.jp/category/others/green_tax/greensite/green/index.html

◇千葉県「環境保全資金(制度全般事業認定)」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

◇千葉縣市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

◇千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

◇福岡県「福岡県エネルギー利用モデル構築促進事業」

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/enegymodel.html>